

市は、交通事故等の状況を踏まえ、以下の4つの重点課題を掲げ、関係機関・市民と協力して交通安全施策を推進することにより、国立にずっと「住みたい」、「住み続けたい」と思ってもらえるような安心・安全なまちの実現を目指していきます。

重点課題

- 1 子どもの交通安全の確保
- 2 高齢者の交通安全の確保
- 3 歩行者の交通安全の確保
- 4 自転車の安全利用の推進

1 子どもの交通安全の確保

子どもは、大人と比べると、交通ルール・マナーを熟知していないため、正しく把握した上で、行動することが必要です。十分な注意力や判断力を身に着けることで、交通事故の被害者となることを避けることができます。そのため、子どもが交通ルールやマナーを身に着けることができる場を提供することが重要です。

子育て世代に選ばれるまちとして、子どもが交通事故の脅威にさらされることのない安心・安全なまちづくりを推進します。

2 高齢者の交通安全の確保

市内における高齢者の交通事故死傷者数は増加傾向であり、今後、高齢者の増加に伴い、高齢者の事故件数も増加していくと考えられます。

加齢により、判断力や注意力、運動能力等は徐々に低下していきます。自分の認識と実際の行動に差が生じている可能性があることから、自身の現状を正しく理解してもらうことで、事故発生を抑制できると考えます。そのため、これまで以上に対策を進めることが重要となります。

3 歩行者の交通安全の確保

歩行者は、事故発生時には被害者となることが多く、車両と接触した場合、怪我を負うことのほか、最悪の場合、死に至ることも考えられ、歩行者の安全を確保することが重要な課題となります。

また、歩行者が車両に注意するだけでなく、車両も歩行者に注意することが必要です。そのため、双方の交通安全意識を高め、歩行者にとって安全な交通環境の実現に向けた対策を進めます。

4 自転車の安全利用の推進

市内における自転車事故は、増加傾向にあります。自転車は免許不要で、子どもから大人まで利用しやすい乗り物であるものの、交通ルールやマナーを守らずに運転する利用者がおり、これが事故の要因となっていると考えられます。

そのため、自転車の利用者一人ひとりが交通ルールやマナーを守ることにより、事故の発生を抑制できる可能性が高まることから、自転車利用者の交通安全意識を高めるとともに、自転車の安全な走行空間の整備を進めていきます。